

一般質問のその後 どうなった!



定例会で議員が出した一般質問がまちづくりにどう生かされているのか。その後を追います。

問

自主防災組織の
現状は

答

8団体が組織
されている。
(H30.7.23 現在)



自主防災組織って
なに?

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という連帯感に基づき、地域の方々が自発的に協力・連携し、防災活動を行う組織のことを言います。
具体的には、平常時は防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、情報の収集・伝達、集団避難、避難所への給水給食などの活動を行います。

どうして必要なの?

大規模災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、充分な対応ができない可能性があります。このような時、近所の人たちが協力して初期消火や救助活動にあたらなければなりません。災害時、頼りになるのは地域住民の助け合いである「共助」です。地域に暮らす私たちは、お互いに助けたり、助けられたりする関係にあります。いざというときに備えることに自主防災組織の必要性があります。
また、阪神・淡路大震災では、救出された人たちの6割が、近所の方々により救出されたという報告があり、自主的な住民組織の有効性が改めて認識されています。

適正な組織の規模
はあるの?

自主防災組織は、地理的条件、生活環境などから見て、地域として一体性を有する大きさが最も効果的に活動できる規模とされています。そのため、組織の多くは、行政区などコミュニティを単位として結成されています。

※出前講座

市ではこれから自主防災組織を立ち上げたことを考えている行政区などを対象に、出前講座を実施しています。防災対策課までご連絡ください。

※自主防災組織は、平成27年6月現在までありませんでしたが、現在では8団体が組織されています。